

大学図書館問題研究会 京都

京都市左京区吉田本町 京都大学教育学部図書室 (竹村心気付)
TEL 075-751-2111 (内3013)

日常の仕事の中から

—ラベルの数字の持つ意味は?—

淀川 裕美

今年の嵯峨美の図書たちはお散歩が大好き。よっぽど散歩するのが好きと見えて、美術史が写真と仲良くしていたり、哲学が女性問題の棚にいたりする。

だから、書架の乱れははなはだしく、毎日の書架整理は悲鳴を上げたくなる程のすさまじさだ。

「元の場所に戻すのがめんどくさいんですよ」。アルバイトのSちゃん(彼女は、嵯峨美の卒業生)がいうんだけど、原因はそれだけではないように思う。

確かに、自分さえよければ他がどうなるうとかまわらない、という学生が増えているのは事実。しかも、自分一人が少々乱しても誰かが整理してくれるという甘えの感覚。

図書館は、多くの、様々な人たちが利用する公共の施設。だから、そこにある資料は、できるだけ大切に扱い、汚したり、破ったりなどでの外と、私など考えるのだが、今の若い人たちは、公共性が無いのか、それとも、そんなこと天から考えたこともないのか、同じ時代に生きていながら、その隔たりが恐ろしい。

ただ、書架の乱れに関しては、他にも原因がありそうだ。

2月程前、こんなことがあった。彼は、版

画専攻科2回生。日に何度となく図書館に通い、様々な分野から必要資料を探しだしてくる名人。なのに、図書の主題分類が理解できていなかった。つまり、ラベルに付されている数字の持つ意味が理解できていなかったわけで、その事実を知った時、スタッフの一人Tと私は、呆然としてしまった。

彼は、今まで手当たりしだいに本を手にとり、図版をめくり、必要な資料を収集していたのだ。ある程度利用すると、だいたいのことは分かってくるから、後は勘に頼っていたのだろう。

良く利用する人でこの有り様だとしたら、時々しか利用しない学生が、自分の使用した図書を元の場所に戻せないのも肯ける。つまりは、本が散歩し、書架が乱れに乱れる元凶。

だからこそ、利用者のモラルの問題は別として、図書館の図書の整理のしかた、NDCによる主題分類、それと配架の関係は、是非とも理解してもらわねばならない。

上記の件は、毎年、4月～5月にかけて行なっている利用指導において、「図書の主題分類」を、どのように指導していけばよいか、一番難しい箇所として、常々スタッフの意識にあったから、二重の意味でショックだった。

現在、各科から利用指導のためにもらっている時間は1時間。その年その年で、いろいろ工夫して取り組んできているが、話すことが中心だと、どうしても説明的になり、これでもかこれでもかと詰め込んでしまう。

より効果的な手段をと話し合った結果、今年、入門的な利用案内ビデオ(18分)を自主作成し、指導時間枠の最初に組み込んで実施した。

目に訴えるものの効果は素晴らしく、初期の目標は達せられたと思う。

ただ1時間の指導枠の中で15分の演習時間を組んでいるため、分類の時間は10分となり、これでは、分類の項目だけに充分時間をかけて指導している高知短大の例に程遠い。

これら時間的制約と利用実態を踏まえて、入門編から一歩進めた第2段ビデオの作成は、図書館にとって必然の事項だったのだが、残念ながら予算が付かなかった。しかたがない。今回も自主作成を、と目論んでいる。

御多聞に漏れず、嵯峨美図書館は、専任図書館員が4月より1名減である。アルバイト(前記のSちゃん)を継続して来年3月までが決定したばかり。

幸いにも、たくさんの方が利用者がいて、日々、うれしい悲鳴をあげてはいても、サービスが伴わなくては、図書館の使命を果たしているとはいえない。

“何をお探しですか”これ、図書館員の基本姿勢。

“利用者に何も持たさずに帰すことは、恥と思いませんか”これまたしかり。

十何年前(?)、図書館学を学んだころ教えられたそれらのことが、近頃しきりに思い出されるのです。

1名減のしわよせは厳しく、書架をうろろしている学生、カード目録の前で首を傾げる利用者を横目に意識しながら、「何を探しているの」と、気軽に声をかけられないこの現実。しゃかりきになって日常業務をこなそうとしているがために、利用者に相談の声を

掛けにくい雰囲気にしてしまっている私達。少なくとも、カウンターにいる時だけでもこやかにと、利用者に接してはいても、それが根本の解決策ではないことを知っているが為の後ろめたさ。

今一度原点に立ち戻って、の思いが先程の“言葉”を思い出させるのか。

図書館員(司書)としての自覚を持つこと。さらにまた、利用者からの声を図書館の問題として受け止め、確実にフィードバックしていく姿勢。そのためには、常に神経を張り詰め、アンテナを張り巡らして些末なことをも吸い上げる努力が必要。

図書館員の問題意識を共通にしていくことも大切だ。共に働く館員の意識がばらばらでは解決すべき問題も解決しまい。

それら様々な問題を整理し、問題提起していくことで、図書館を取り巻く状況も少しずつ変わっていくと思う。

今年4月から貸し出しシステムを機械化した。利用者は、借用証に筆記する必要がなくなったため、便利になり、確実に貸し出しは伸びている。返却はカウンターに図書を置いておくだけで済む。ところが、2回生・専攻科生は、それが寂しいという。

この言葉は重い。

貸し出しの時も返却の時も、必ず一声掛けていたから、利用者の顔も名前も気質までもがわかっていた。その人にあった資料を提供することも容易だった。又、気軽に声を掛けやすい状況をも作り出していたと思う。

便利さを取って、切り捨てた部分の大きさに今改めて直面している。

これをどうクリアし、サービス充実につなげていくか、今後の課題である。

(嵯峨美術短期大学図書館)

第2節 化学物質の検索について

① CAS登録番号⁽¹⁾

DIALOGのCA Searchで、ある化学物質について文献検索するときには、必ず、CAS登録番号を調べておく必要がある。エイズというとよく出てくる薬にAZTというのがあるが、これについてCA Searchで遡及検索したいときは、AZTのCAS登録番号30516-87-1をチェックし、この番号で検索しなければならない。もし、AZTで検索しても、あるいはCA Index GuideにThymidine, 3'-azido-3'-deoxy-という記載がAZTの項目に書いてあるのでそれで検索しても、相当な検索漏れが生ずることを心得ておかれたい。

それで、いったいどうやって、この番号を調べればよいか、ということである。以下、私の知る限りで、どんなところに、この番号が出てくるかを書いておこう。

まず、CAのIndex Guide。但し、全ての化学物質のCAS登録番号を、この本で調べることはできない。しかし、手頃なtoolであり、まず、最初に手にするのに適当である。ちなみに、1987年版のIndex Guideをひくと、確かに、ATZからCAS登録番号30516-87-1をチェックできる。

「The Merck Index 10th ed.」には"Chemical Abstracts Names and Registry Numbers"という部分がある。この本に記載した化学物質や医薬品について、CA索引名とCAS登録番号を調べることができる。

私の勤務する図書室には、U.S. Department of Health, Education, and Welfare発行の「Registry of Toxic Effects of Chemical Substance 1976 ed.」がある。ここでも、化学物質

名が、アルファベット順にならび、各化学物質についてのCAS登録番号が載っている。

CAS Registry Handbook-Common Names⁽²⁾は、化学物質の慣用名から、CAS登録番号を知ることのできるtoolである。

CAのChemical Substance IndexやFormula Indexには、各化学物質に各々CAS登録番号がついている。

また、JACSや、Chemische Berichte, J. Medicinal Chemistry, J. Physical Chemistry等、いくつかの学術雑誌の各論文末尾にも、その論文でとりあげられたCAS登録番号が記されている。

② Chemical Substance Index⁽³⁾

オンライン検索で、化学物質検索をするときには、CAS登録番号を調べておくことが、ひとつのKey Pointになっていた。では、冊子体でのマニュアル検索の場合はどうか。何か事前に調べておくことがあるか。

まず、見出しにかかげたChemical Substance Index（以下の記述の中ではCSIと略す）は何なのか。CSIは、Volume Indexのひとつで、化学物質索引である。個々の化学物質についての遡及検索をしていこうとしたときには、CSIで検索することになる。

ただし、CSI利用の際には、事前に調査しておく事柄がある。それは、こうである。CSIの見出し語は、CASの索引命名法規則⁽⁴⁾できめられている化学物質によっている。であるから、CSIをひく際には、ある化学物質をいくら慣用名や商品名でひいても、それらの名称では検索できない。では、どうするのか。まず、Index Guideをみることになる。たとえば、AZTについてCA Index Guideをひくと、Thymidine, 3'-azido-3'-deoxy-と出ている。

C S Iの見出し語はこれなのである。なお、見出しは、各化学物質名の索引母核部分、置換基部分、名称修飾語部分で構成されている。索引母核、置換基という順序は、通常とは逆の順序（倒置形式）になっている。なぜ、このような表記法をしているのか。それは、同じ索引母核のもとに関連物質を集めるためである。これにより、一覧に関連物質をみることが出来る。皆様は、C S Iを慣用名や商品名でひけたらいいと思われるかもしれない。しかし、そうすると、ひとつの物質について、たくさん名前がついていたとき、その数だけ見出しをつくらねばならず、索引をつくるほうにも、引くほうにも不便である。でも、皆様は、A Z Tなどの名称のほうが、とっつきやすい。A Z Tを統制語にすればよい、と思うかもしれない。しかし、同一索引母核の頃に関連物質を集め、システマティックに化学物質を整理するには、CASの索引命名法規則で定められた名称を使うのがよい。このことは、語い統制の問題に及んで、この中だ

けで論じつくせないことであることだけを、付記しておく。

なお、CAS登録番号を知っていて、CA索引名がわからないときは、どうするか。CAS Registry Handbook-Number Section⁽⁵⁾を見ていただければ、すぐわかる。

注

- (1) 化情協 CA p. 16, 笹本 CA p. 172,
- (2) 時実象一「CA Search 検索補助資料と検索の戦略 情報管理, vol. 23 (1980) p. 590 ~ 606.
- (3) 化情協 CA p. 51 ~ 59, 今回の説明はこれに依っている。
- (4) CA Index GuideのAppendix IV に、Chemical Substance Index Names としてCASの化学物質の索引規則についての説明が記されている。
- (5) 前述(2)参照。

(京都大学薬学部・菅 修一)

第15回全国研究集会開催要綱

「主題研究・資料研究について」

日時・会場：10月29日（土） 滋賀県立図書館会議室
10月29日宿泊 いこいの村びわ湖
10月30日（日） いこいの村びわ湖

研究集会プログラム：

アンケートのまとめ（研究委員会）：29日 3:00 P. M. ~ 5:00 P. M.

個別研究発表：30日 9:00 A. M. ~ 3:00 P. M.

参加申し込み締切：9月30日

参加費：2,000円

宿泊費：一泊二食（含 懇親会費） 10,000円

参加申し込み：郵便番号 520

大津市丸の内町 8-35 堤 美智子 まで

葉書に氏名、住所、所属大学、連絡先と宿泊の有無を書いて
申し込んでください。